

夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校

学校だより 第9号

令和4年1月31日

気を引き締め直して & 身が引き締まる思いで

10月から始まった校庭改修工事ですが、1月19日に最終検査を終え、無事使用可能となりました。久しぶりの校庭開放に生徒たちは、早速グラウンドの土の感触を味わいながら、サッカーやキャッチボール、縄跳び等に興じておりました。自立活動に体育、部活動でも思い切り体を動かかせると思った矢先に、新型コロナのオミクロン株の爆発的な感染拡大で、またまた、まん延防止等重点措置が出されてしまいました。「感染が急拡大するが収束も早いのでは」「感染力は高いけど重症化率は低いから大丈夫」等のいろいろな情報が錯綜し、なかなか見通しがもちにくい状況となっています。そんな中でも、「高等特支の皆さんは素晴らしい！」情報に惑わされることなく、自分たちができる感染対策をきっちりと守って生活しています。しかし、この状況下です。万全の対策をとっていてもどこで誰が感染するかわかりません。消毒、換気、密を避けることを徹底し、楽しく学校生活が送れるよう、今一度、気を引き締め直していきたいと思います。



1月21日には、令和4年度の入学許可候補者の発表がありました。正直とても複雑な心境になりました。これまで学校参観や進路面談で何回も学校に訪れ、本校生徒たちの学習や生活の様子を知り、是非、この学校で学びたいと思って受検していただいたことと思います。しかし、定員のある学校ですので、全ての方の願いをかなえることはできず、32名の候補者発表となりました。一緒に学ぶことがかなわなかった方々は、違う学校に行ってもそれぞれの学校で、頑張る気持ちを持ち続け活躍することと信じています。目標に向かって努力したすべての受検生の思いを考えると、あらためて来年度の新入生32名はもちろんのこと、昨年、一昨年に同じ思いで入学してきた在校生も、しっかりと成長させ社会に送り出さなくてはならないと、身が引き締まる思いになりました。先生方にはその旨を伝えました。生徒の皆さんにも是非、その思いを踏まえて、自信と自覚をもって取り組んでほしいと思います。

今年度も残すところ2か月を切りました。3年生の教室前廊下の壁には、卒業カウントダウンカレンダーが掲示されています。1月28日現在で卒業式まであと23日です。その日めくりカレンダーの下には、生徒が順番で一言ずつ想いを書いています。友達や先生への感謝であったり、これからの意気込みであったり、淋しさを感じつつも前向きな言葉ばかりです。「高等特別支援学校は楽しかった!」と清々しい気持ちで卒業できるよう、残り少ない学校生活を充実させていきたいと思います。そのためにも、「気を引き締め直して」「身が引き締まる思い」を胸に抱きながら取り組んでいければと思います。

校長 三宅 健二郎